

年間騒音発生回数

10,947回

平成28年度
上大謝名地区



上大謝名地区では、1日あたりで30回（平成28年度）もの騒音が測定されています。基地周辺では、日常的に騒音にさらされた生活を余儀なくされており、住民にとって大きな負担となっています。

騒音最高値

116.7dB

平成28年10月19日
上大謝名地区



夜間騒音

99.7dB

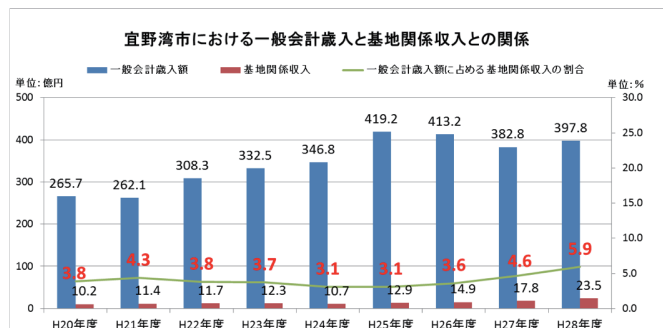
22時34分測定
平成29年3月2日 上大謝名地区

平成28年度に測定された騒音最高値は116.7dBで、これは「自動車のクラクション（前方2m）」よりもさらに大きな騒音とされています。また、日米合意で22時以降の飛行は制限されているにもかかわらず、夜間騒音も度々記録されております。

騒音の大きさ	具体例	騒音の大きさ	具体例
120dB	飛行機のエンジン近く	100dB	電車通行時のガード下
110dB	自動車のクラクション（前方2m）	90dB	騒々しい工場内

基地と財政

5.9%



宜野湾市の一般会計歳入額に占める基地関係収入の割合は6%以下に留まり、基地があることによって、都市計画や施設配置に影響を及ぼしており、市の経済発展を阻害する要因にもなっております。一方で、近年基地関係収入が増加している要因は、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区や普天間飛行場東側部分の返還に伴う事業費の増加等が考えられます。